

◎今後5年間重点的に取り組む事項

取組事項	主な現状と課題
① 規範意識とコミュニケーション能力の育成	○家庭でのしつけが十分ではなかったり、家庭を支える地域のつながりが希薄になっていたりすることが指摘されており、家庭や地域への支援が課題 ○集団で遊ぶ機会や家族で接する機会の減少から、日常的に人と話をする機会が減少していることが課題 ○パソコンや携帯電話などの普及により、インターネットを介したトラブルや犯罪が増えており、情報モラル教育の充実が課題
② いじめ・不登校等への対応の充実	○いじめ、不登校などの原因が多様化・複雑化しており、相談体制の強化や対応する機関の連携が課題
③ 環境学習の充実	○地球環境の悪化が深刻化しており、持続可能な開発のための教育の提供が課題 ○愛知万博とCOP10の理念を引き継ぐ取組が必要
④ 学習意欲の向上と確かな学力の育成	○家庭での学習習慣の確立と、学習に対しより興味・関心をもてるような授業を行うことが課題 ○社会の変化に柔軟に対応できる確かな学力を身に付けさせるため、きめ細かい指導や教師の指導力を向上させるなどの取組が課題
⑤ 生涯学習の支援	○変化の激しい社会を、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることが求められていることから、生涯にわたって学習を継続でき、その成果を適切に生かせる環境づくりの構築が課題
⑥ キャリア教育の充実	○将来に具体的な目標をもつことのできない若者が増加し、自らの将来に夢やあこがれをもたせる取組が課題 ○自己有用感を持てる若者の割合が低下しており、社会に役立つことを実感できる機会を設けることが課題
⑦ 特別支援教育の充実	○在籍する障害のある幼児児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに対応した支援が必要となっており、すべての園・学校における特別支援教育の充実が課題
⑧ 基本的な生活習慣の確立と健やかな心と体の育成	○テレビの視聴やテレビゲームへの熱中により、睡眠時間の減少などの生活習慣の悪化が見られ、基本的な生活習慣の確立が課題 ○運動する子と運動しない子とで体力が二極化しており、運動できる機会を積極的に提供していくことが課題 ○朝食の欠食や孤食など、食生活が変化しており、食に関する学びの機会を提供していくことが課題
⑨ 伝統文化を尊重する心や文化芸術を理解し創造する力の育成	○地域社会のつながりの希薄化や、地域伝統文化の担い手の高齢化などにより、伝統芸能に触れる機会が減少しており、伝統文化を尊重する心を育むことが課題 ○あいちトリエンナーレを契機として、芸術に触れ親しむ雰囲気醸成していくことが課題
⑩ 多文化共生を推進する教育の充実	○日本語指導が必要な外国人児童生徒が最も多く、また外国人児童生徒の不就学の実態があり、外国人児童生徒への教育に関する対応が課題 ○外国人が県民に占める割合が多くなっており、多文化共生社会を構築していくことが課題
⑪ 幼児教育の充実	○少子化、情報化など社会の変化、家族のありようの変化などによる、伝え合う力やがまんする力の低下など、幼児期においての問題が顕在化してきており、人格形成の基礎となる幼児教育の充実が課題
⑫ 信頼される学校づくり	○家庭・地域・学校の三者連携による教育や、個々の様々な要求に対応できる教育を推進するために、家庭や地域に対して開かれた学校づくりをしていくことが課題

教育の原点である「知・徳・体」を重視する	①④⑧
教育の喫緊の課題に対応する	②⑦⑫
愛知の特色を生かした取組	③⑨⑩
一生涯を通じた学びを実現する	⑤⑥⑪